

# やすらぎだより

12  
月  
号

陽気で緑にあふれた生活 それがやすらぎ園です

施設長コラムバックナンバーホームページ掲載しています。

コラム第174号

## 「 風光明媚 」

施設長 植田 誠



晩秋から向寒となるこの頃、施設からの眺めは絶景を迎える。垣間見えるモミジはひっそりと、園庭の桜をはじめ松や楓なども程良く紅く染めたかのように見えるその光景は、美観に疎い私でさえ感銘を受ける。‘360度の大パノラマ’は言い過ぎだが、風光明媚を特徴に謳う当法人最大の持ち味の一つだ。

ここ数年、南西の景色に変化が見られた。それはススキの成長である。グループホームの屋根越し一帯におよそ150坪、まるで人が手入れしたかのような長方形の一角にススキの一群が存在感を示す。

「あれ？以前から生えていたか」

草木に無知なのが理由か、情景という豊かな感性に乏しいのが理由か、いずれにせよ興味が薄い私には見覚えが無い。ススキと言えば‘曾爾高原’しか浮かばず、秋の七草の一つであることさえ知らなかった私には所詮答えは出てこない。そこで、間近で見ているグループホームスタッフに問うと思わぬ返事が返ってきた。

「ススキに困っているのです」と

風光明媚に更に花を添えてくれたススキを称賛しようと考えていた私には、予想だにしない言葉であった。

「昨年からフェンスや庭の付近に生えだし、刈ってもまた生えてくるんです。中々しぶといですネ」

150坪から飛んだ種子が強い生命力に促され去年から目立つようになったらしい。見ると、黒ビニールで覆った庭の隙間を縫ってススキの根茎が浸食している。

「恐るべし、ススキ」

思わず唖ってしまった。

ついでにススキの花言葉を調べると‘活力’とのこと。暑さ寒さに強く真っ直ぐ伸び育つ姿からの言葉らしいが、スタッフからの情報を得た私には納得できた。そして、美観の裏には葛藤があるということも。



### 社会福祉法人やすらぎ会 実施事業

- 特別養護老人ホーム やすらぎ園
- 在宅サービス事業所
- 在宅介護支援事業所
- 訪問介護事業
- 訪問入浴介護事業
- 短期入所生活介護事業
- 在宅介護支援センター
- 天理市東部地域包括支援センター
- ケアハウス やすらぎ
- 介護予防関連事業
- グループホーム むつみあい
- 住まいの生活支援事業